

# 住民参加型ハザードマップ 作成のための住民懇談会

第1回住民懇談会

佐畑自治会

令和3年10月9日(土)

住民懇談会(全3回)を通して、  
みなさんに話し合っ  
て決めて頂くこと

①身の回りの危険箇所

②避難場所

③避難ルート

④避難のための交通手段

⑤避難のタイミング

⑥避難のための声かけ・連絡の仕組み

# ①身の回りの危険箇所について考える

- 地区内に土砂災害警戒区域・特別警戒区域はあるか？
- ある場合はどこか？
- 過去に土砂災害が起こっていないか？ 起こったのであればどこか？  
⇒予兆はあったか（地鳴り、悪臭など）？
- 地区内に浸水想定区域はあるか？ある場合はどの範囲か？
- 過去に水害が起こっていないか？起こったのであればどこか？
- その他の災害（例えば火災）が起こった箇所はないですか？



出典：国土地理院より



出典：国土交通省 中国地方整備局 HPより

## ② 避難場所を把握する

- 市町が指定している近隣の避難場所はどこか？
- 地区として決めた独自の避難場所はあるか？あるとすればどこか？  
⇒地区としてはどこの避難場所に行くか？



避難場所例：吉敷地域交流センター



### ③避難ルートについて考える

避難するタイミングが大切です。

- 早い段階では安全に通れますが、遅い段階では安全に通れなくなる。  
⇒避難するタイミングが早い段階と遅い段階とでは安全に通れるルート選択が変化するので複数のルート案を比較・検討してください。

山際の道は、避難のタイミングが遅いと土砂崩れの可能性が高くなる。



がけ崩れの事例

## ④ 避難のための交通手段について考える

みなさんは、どのような交通（移動）手段を考えていますか？



マイカー・知人の車



徒歩



自転車

その他：タクシーなど

# ⑤ 避難のタイミングについて考える

みなさんは、どのタイミングで避難しますか？

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 <p>災害発生 又は切迫</p>	<p>きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b>※1</p>	<p>これまでの避難情報等</p> <p><b>災害発生情報</b> (発生を確認したときに発令)</p>
<p>~~~~&lt;警戒レベル4までに必ず避難！&gt;~~~~</p>			
4	 <p>災害の おそれ高い</p>	<p>ひなんしじ <b>避難指示</b>※2</p>	<p>•避難指示(緊急) •避難勧告</p>
3	 <p>災害の おそれあり</p>	<p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>※3</p>	<p><b>避難準備・ 高齢者等避難開始</b></p>
2	 <p>気象状況悪化</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>今後気象状況 悪化のおそれ</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。



# ⑤ 避難のタイミングについて考える

手順④ **いつ逃げる？**  
**マイタイムライン**

自分たちの行動計画等を書き込みましょう。

気象情報	警戒レベル	防災気象情報 (気象台、山口県)	避難に関する 情報(周南市)	とるべき行動	私の家族と行動 (記入例)	私の家族と行動
大雨の1日前	警戒レベル1	早期注意情報 (警報級の可能性)		最新の防災気象情報等に留意するなど、災害の心構えを高める。	1 非常時品の準備	
大雨の半日前 ～数時間前 ↓ 雨が強さを増す	警戒レベル2	・大雨注意報 ・危険度分布 (注意「黄」)	注意を促す 情報	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認する。	2 家族に声をかけ、避難の準備をする。	
大雨の数時間前 から2時間前 ↓ 大雨となる	警戒レベル3	・大雨警報(土砂災害) ・危険度分布 (警戒「赤」)	避難準備 情報	災害が想定されている区域では、自治体からの避難準備・高齢者の避難開始の発令に留意し、危険度分布等の情報を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をする。	3 班長から避難開始の連絡を受ける。 大河内市民センターにマイカーで避難する。	
大雨が一層が 激しくなる ↓ これまでに 経験のない 大雨となる	警戒レベル4	・土砂災害警報情報 ・危険度分布 (非常に危険、 極めて危険「紫」) ↓ 記録的短時間大雨情報 時間雨量 100mm/h以上	避難勧告 ↓ 避難指示	災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布等の情報を用いて自ら避難の判断をする。	4 大河内市民センターにて待機	
土砂災害 発生	警戒レベル5	・大雨特別警報		何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっている。命を守るための最善の行動をとる。	5 大河内市民センターにて待機	

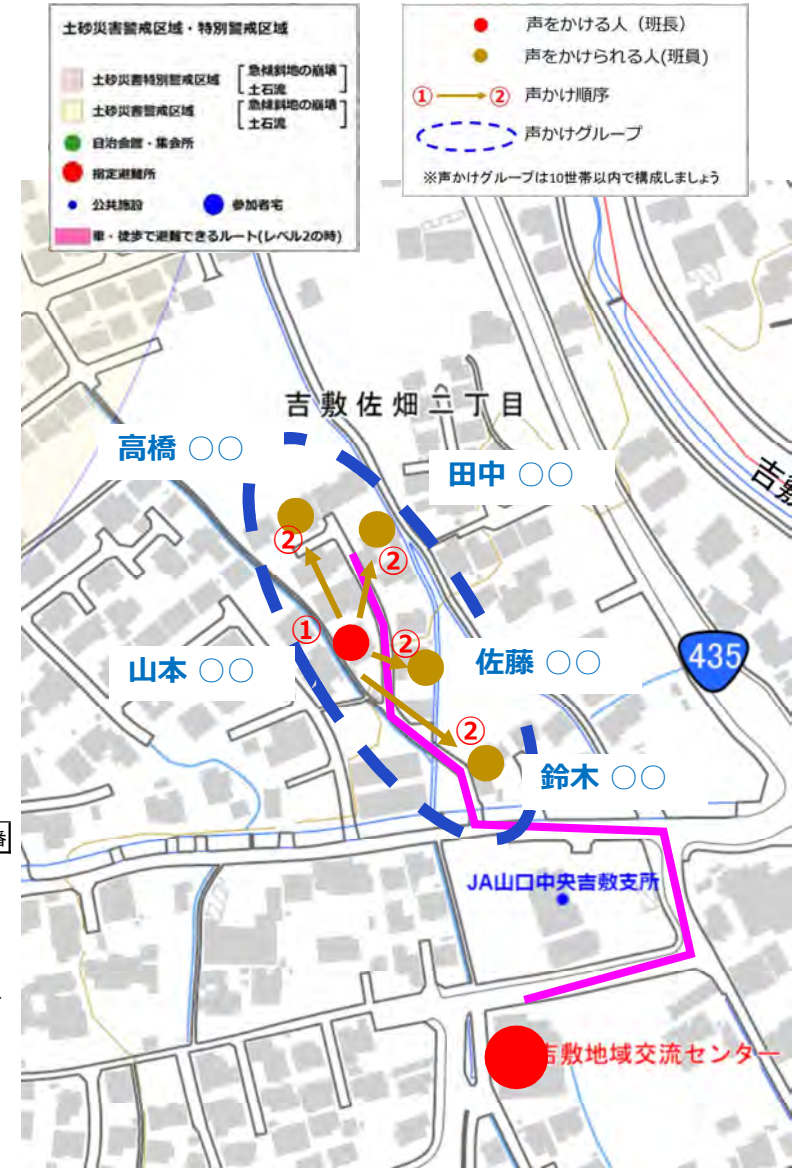
※当記載内容は、住民懇談会で得られた成果をもとに作成したものです。使用にあたっては、ご自分の状況に応じて、マイハザードマップの作成をお願いします。タイムライン作成の手引き(山口県平成28年3月)及び首相官邸 HP (http://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/keihoujimi/) を参考にしました。

過年度までのタイムラインの例



# ⑥ 避難の声かけ・連絡の仕組みについて考える

- 早期避難のためには近所への声かけが効果的です。まず、声をかけあうグループを作ります。
- 避難時にはグループで声をかけあい、みんなで避難する仕組みを考えていきます。
- 声かけの仕組みを連絡網に反映することを考えていきます。



## 連絡網の例

連絡網(例)

リーダー	●●自治会長	090-xxxx-xxxx
	○○副自治会長	090-xxxx-xxxx

通し番号	番
------	---

●●班	名前	人数	連絡先(自宅の電話・携帯電話番号)	誰から	誰の車	いずれかに○をつける		避難完了
						声かけ	相乗り	
班長	山本 ○○	2	090-xxxx-xxxx			○		<input type="checkbox"/>
班員	高橋 ○○	1	090-xxxx-xxxx	班長から	山本の車	-	○親せき宅	<input type="checkbox"/>
	田中 ○○	3	090-xxxx-xxxx	班長から	タクシー	○		<input type="checkbox"/>
	佐藤 ○○	1	xxxx-xx-xxxx	班長から	独自	○		<input type="checkbox"/>
	鈴木 ○○	2	090-xxxx-xxxx	班長から	佐藤の車	○		<input type="checkbox"/>

✓を入れる

声かけマップの例

# 全3回の住民懇談会の内容

第1回…地図を使って身の回りの危険な箇所を把握し、避難場所や避難ルートを選びます。

第2回…まちあるきにより第1回で抽出した危険な箇所や避難ルートを実際に確認していきます。

第3回…避難先、避難ルート、避難のタイミングなどを整理します。

# 本日の住民懇談会（ワークショップ）の 進め方

①はじめに自己紹介をします。

②地図の説明をします。

③地図を使ってみなさんで意見を出し合い、身の回りの危険な箇所を把握し、避難場所や避難ルートを選び、検討結果を図上に書き込みます。

④最後にみなさんに感想を述べて頂きます。



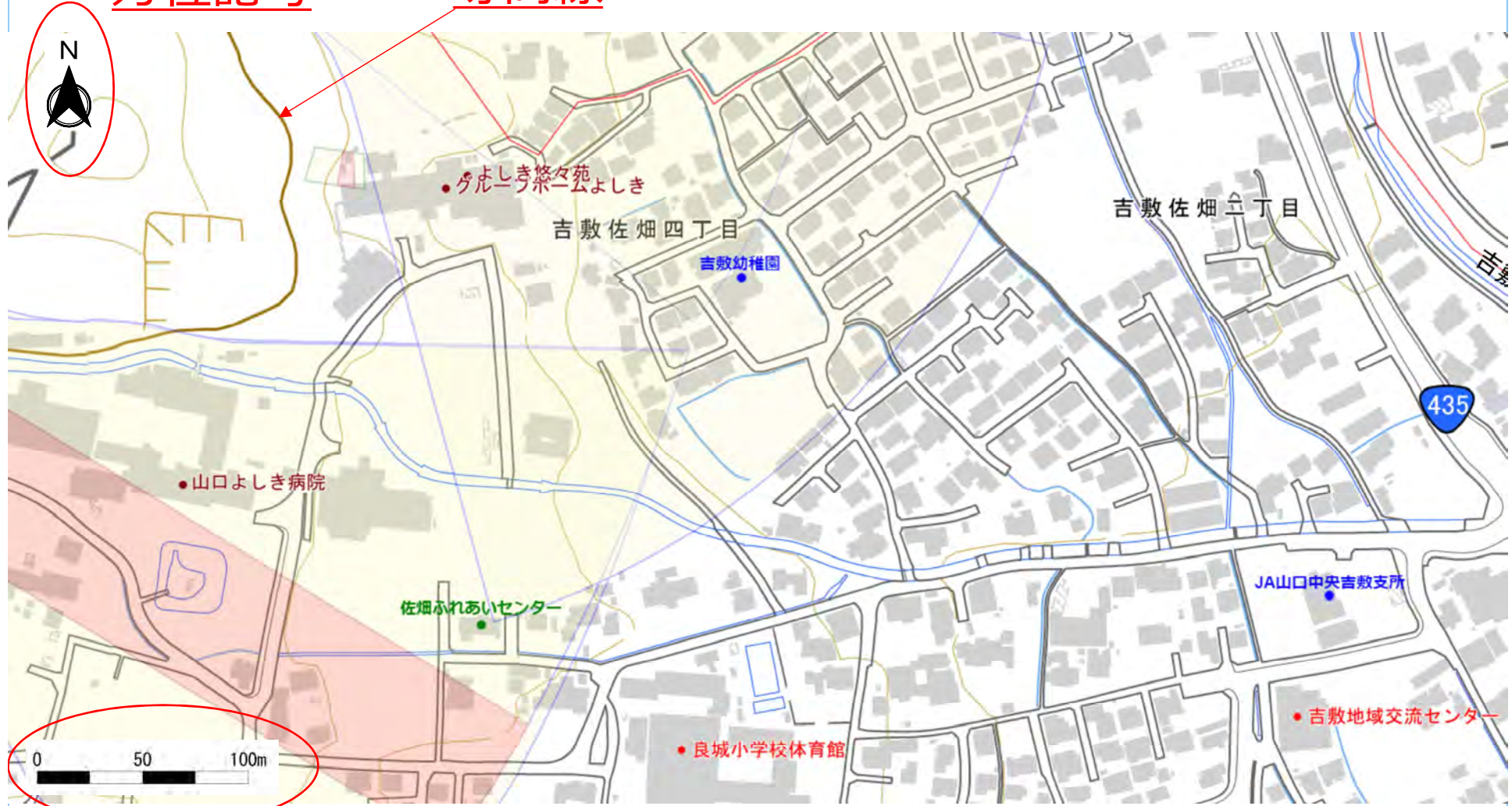
①はじめに自己紹介をします。



## ②地図の説明をします。

方位記号

等高線



縮尺

③地図を使ってグループで意見を出し合い、身の回りの危険な箇所を把握したり、避難場所や避難ルートを選びます。

### 図上作業（DIG作業）の流れ

1. 自宅の位置情報を書き込みます

2. 道路や目印となる建物を書き込みます

3. 自治会境界・避難所の確認を行います

4. 自然条件(地形や水路・河川など)の情報を書き込みます

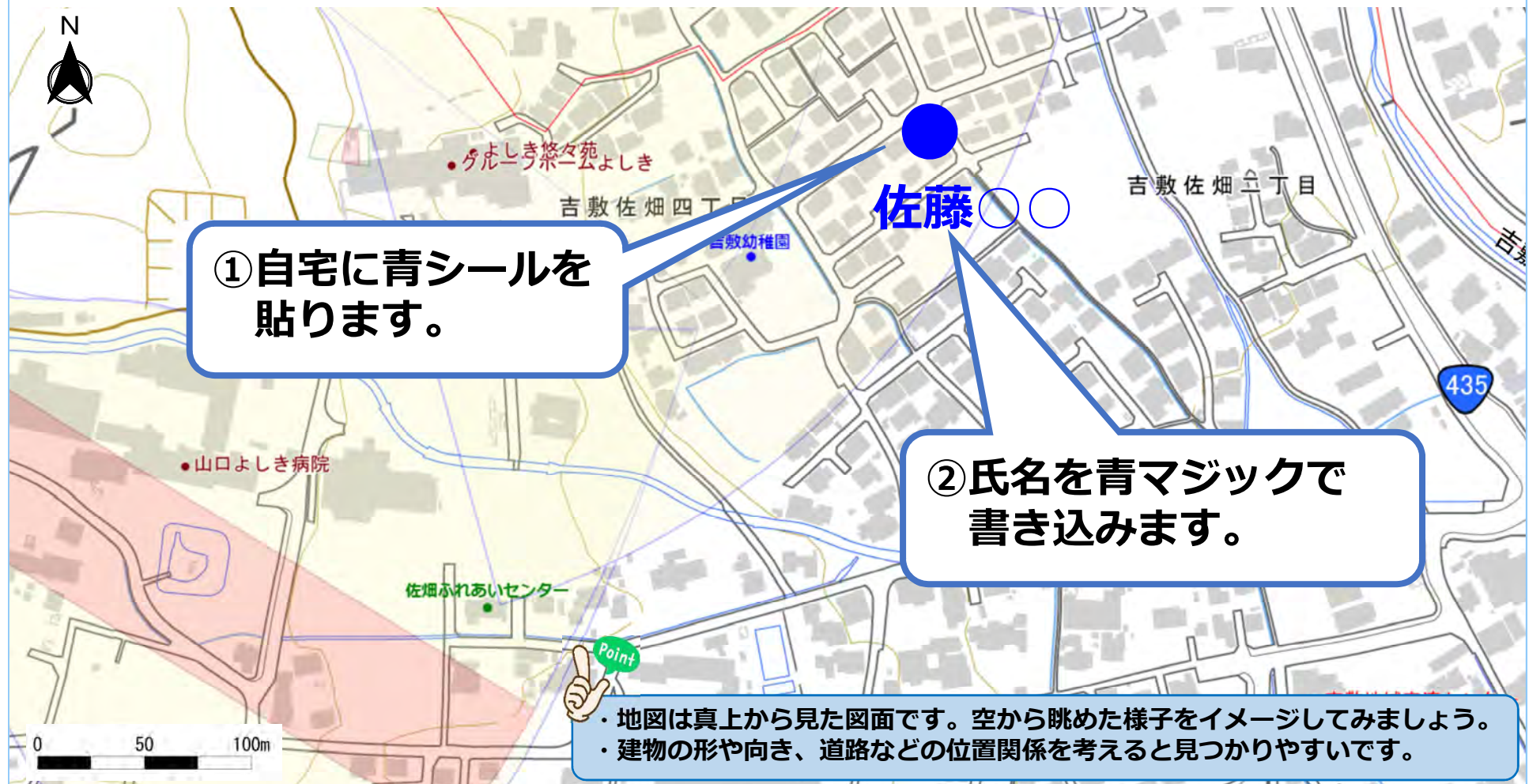
5. 危険な箇所や過去の災害箇所の情報を書き込みます

6. 避難場所や避難ルートを選びます



# 1. 自宅の位置情報

- ① 自宅の位置に青シールを貼ります。
- ② 氏名を青マジックで書き込みます。



## 2.道路の情報

①道路を黒マジックで書き込みます。





## 2.避難に役立つ建物の情報

避難に役立つ堅牢な建物があれば、

- ①緑シールを貼ります。
- ②建物の構造（鉄筋か木造か）を緑マジックで書き込みます。





### 3.自治会境界の確認

①自治会・町内会の境界（赤ライン）を確認します。



### 3. 避難所の確認

- ①避難所の位置を確認します。
- ②避難所情報を確認します。

②避難所情報を確認します。

①避難所の位置を確認します。

名称	種別	収容人数	トイレの数	障害者用設備	駐車場数	備蓄の有無・量
吉敷地域交流センター	指定緊急避難場所	〇〇名	1階 ○箇所 2階 ○箇所		〇〇台	
良城小学校(校舎)	指定緊急避難場所					
良城小学校(体育館)	指定緊急避難場所					
鴻南中学校(校舎)	指定緊急避難場所					
鴻南中学校(体育館)	指定緊急避難場所					
維新百年記念公園	広域避難場所					

0 50 100m

● 良城小学校体育館

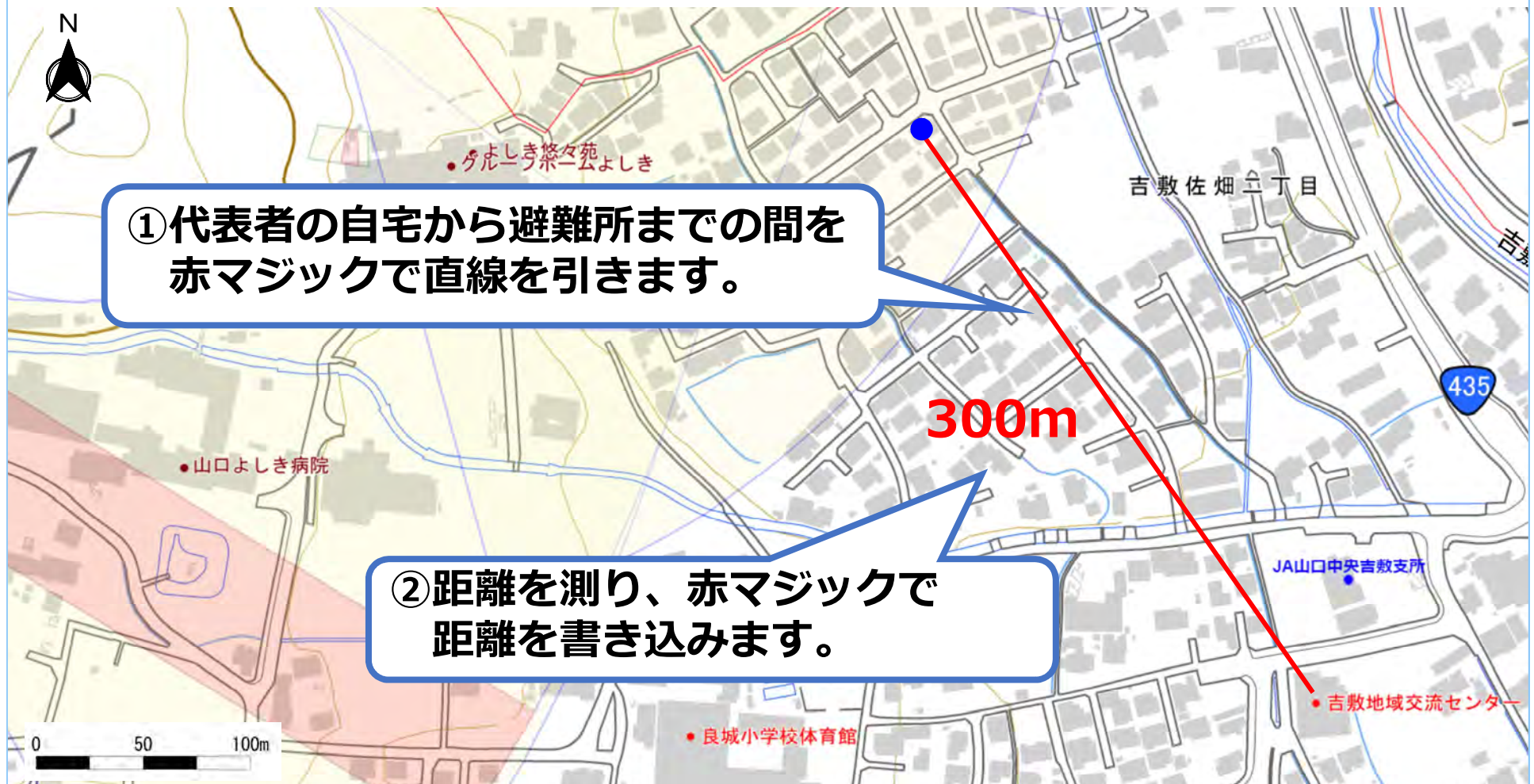
● 吉敷地域交流センター



### 3. 避難所の確認

避難所までの距離を確認します。

- ①代表者の自宅から避難所の間を赤マジックで直線を引きます。
- ②距離を測り、赤マジックで距離を書き込みます。





## 4.自然条件(地形や水路・河川など)の情報

- ①土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域を確認します。  
※土砂災害には急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりの現象があります。



## 4.自然条件(地形や水路・河川など)の情報

①山地と平地の境界を緑マジックで書き込みます。





## 4. 自然条件(地形や水路・河川など)の情報

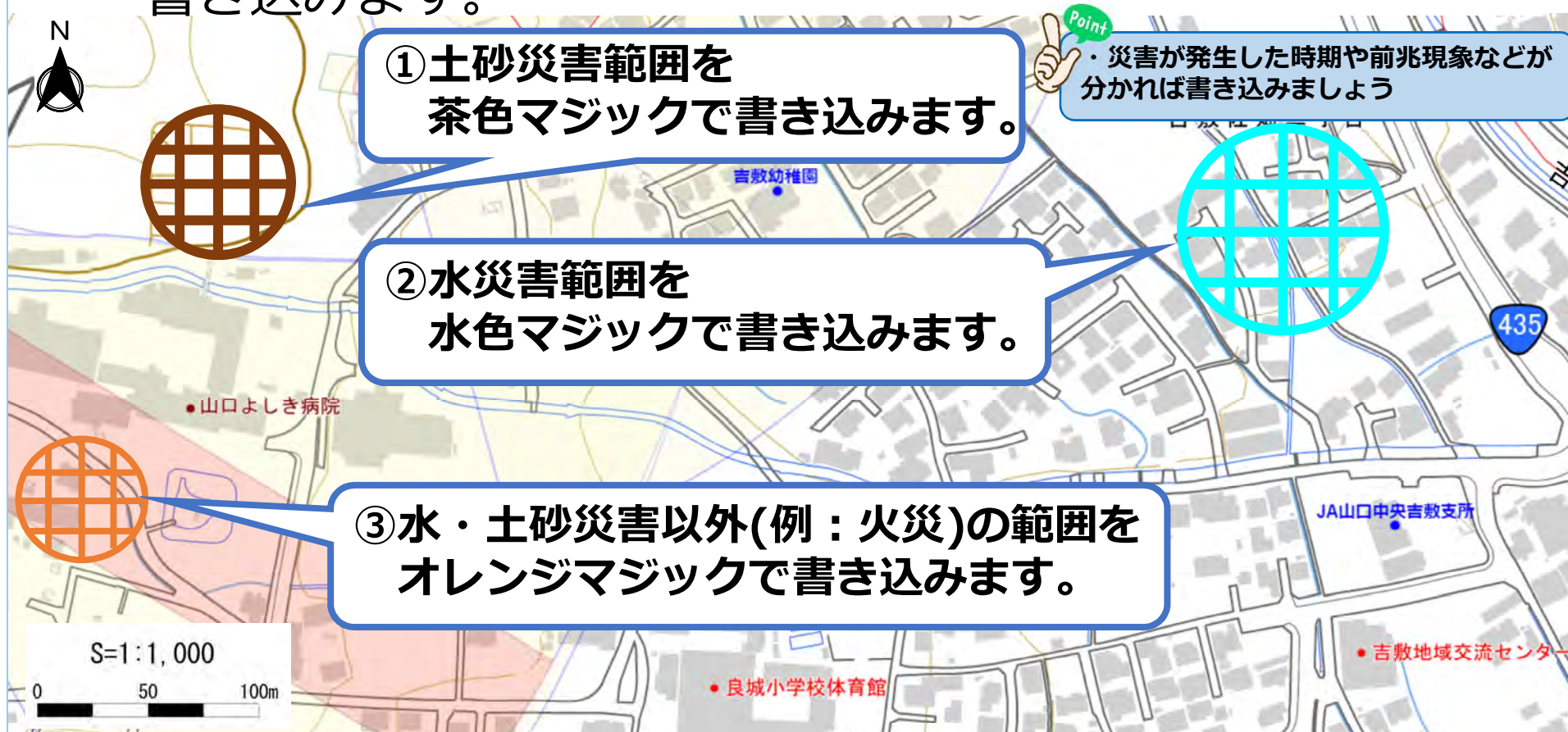
- ①主要河川、水路、ため池を青マジックで書き込みます。
- ②流れる方向を青マジックで書き込みます。



## 5.危険な箇所の情報

過去の災害箇所を書き込みます。

- ①土砂災害は茶色マジックで書き込みます。
- ②水災害は水色マジックで書き込みます。
- ③土砂災害・水災害以外(例：火災)はオレンジマジックで書き込みます。





## 5.危険な箇所の情報

災害箇所以外の危険と感じる箇所を書き込みます。

- ①土砂災害は茶色マジックで書き込みます。
- ②水災害は水色マジックで書き込みます。
- ③土砂災害・水災害以外(例：火災)はオレンジマジックで書き込みます。



## 6.避難場所や避難ルートを選定

市町の指定避難所の位置を確認します。

①指定避難所を確認し、赤シールを貼ります。





## 6.避難場所や避難ルートを選定

安全な避難ルートを書き込みます。

①安全な避難ルートをピンクマジックで書き込みます。



## 6.避難場所や避難ルートを選定

浸水想定区域の確認をします。

- ①図面を浸水想定区域が入ったものに差し替え、  
浸水想定区域の確認をします。





地図を使った作業は以上となります。

みなさんの地区の自然条件、危険な箇所、避難場所、避難ルートなどについて、理解をして頂けたでしょうか？

③最後にみなさんに感想を述べて頂きます。

ご意見でも構いませんのでお聞かせください。

# 本日のふりかえり

- 過去の災害や危険な箇所について
- 避難場所
- 避難経路
- その他避難のための交通手段
- 避難のタイミング



## 次回（第2回住民懇談会）の予定内容

- まちあるき
- 避難場所、避難ルートの確認
- 避難時期（タイムライン）の検討

# 第2回住民懇談会の開催日時について

会場：吉敷地域交流センター

開催日時：令和3年11月27日(土) 14時～

※次回の服装

まちあるきをしますので、動きやすい服装と靴でお越しく下さい。

本日は、お疲れ様でした。  
気を付けてお帰りください。